

活動報告

「はなこ哲学カフェ いどばたのいどほり」について

はなこ哲学カフェ とは?

- •2014年 10月 発足
- 小平市内を拠点に開催している哲学カフェ
- ・主に乳幼児を持つお母さんが子連れで気軽に参加できる

特徴

- ・子連れ参加OK
- ・子供の安全性、自由性を考え、基本的に靴を脱いで 過ごせるフロアや和室がある施設を利用

現在の活動状況

- ・主に小平市内の公共施設にて哲学カフェを開催
- ・他団体とのコラボ哲学カフェを企画・開催





「はなこ哲学カフェ」 これまでの開催実績 1/3

年	月		対話テーマ・開催実績	開催曜日	対象
2014年	10月	第1回	「ありのままの自分とは何か?」	平日	女性
	11月	第2回	「価値観が合う、とは何か?」	平日	女性
	12月	第3回	「家族とは何か?」	平日	女性
2015年	2月	第4回	小平市子育てサークルとのコラボ企画 「人はなぜ旅をするのか?」	平日	女性
	3月	第5回	「当事者であるとはどういうことか?」	平日	女性
	4月	第6回	「良いゲームと悪いゲームの違いはどこか?」	平日	女性
	5月	第7回	「うそをつくことはいつも悪いことか?」	平日	女性
	5月	第8回	小平市市民活動支援公募事業 として開催 「今日、なに食べる?」食にまつわる哲学カフェ	土曜日	誰でも OK
	6月	第9回	絵本「おおきなかぶ」を使った哲学対話 「弱い者をよぶのはなぜか?」 (強さ、弱さについて)	土曜日	女性

「はなこ哲学カフェ」 これまでの開催実績 2/3

年	月		対話テーマ・開催実績	開催日	対象
2015年	11月	第10回	「家族とはなにか?」	土曜日	誰でも OK
	12月	第11回	「親の愛情とは?」	土曜日	誰でも OK
2016年	1月	第12回	「親のわがままはどこまで受け入れるべきか?」	土曜日	誰でも OK
	3月	第13回	「何でも読書会」×「はなこ哲学カフェ」 コラボ企画 本と対話のカフェ(幸せと不幸せの境界線とは?)	土曜日	誰で もOK
	6月		ママ哲学サークル イベント内にて はなこ哲学カフェ 活動報告		
	7月	第14回	「音楽×哲学対話」スピンオフ企画 in国分寺 音楽と対話のカフェ	土曜日	誰で もOK
	8月		第2回大会 哲学プラクティス連絡会 にてブース出展		
			ミニシンポジウムのパネラー(尾崎) 「対話の余白からー<在野の市民カフェ>の健全な機 能とはなにか?		

「はなこ哲学カフェ」 これまでの開催実績 3/3

年	月		対話テーマ・開催実績	開催日	対象
2016年	9月	第15回	小平市市民活動支援公募事業 として開催 哲学ドラマ「言葉・カラダ・あそぶ」 〜親子をつなげる新感覚ワークショップ〜	土曜日	親子
	10月		小平市NPOフェスタin元気村2016 ブース出展にて活動紹介&報告	平日	女性
	11月	第16回	2016年 駒場祭 こまば哲学カフェ内にて開催 どうする?!子供の英語教育 〜親はなぜ子どもの英語教育に不安を感じるのか〜		誰で もOK





事例①:小平市市民活動支援公募事業 として開催

2015年5月開催

第8回 小平市市民活動支援公募事業 として開催「今日、なに食べる?」食にまつわる哲学カフェ

ゲスト:神戸和佳子さん (東京大学大学院 教育学研究科博士課程

東洋大学京北中高等学校 • 開智中高等学校

にて哲学を中心とした授業を行っている)

参加者:22名









事例②:小平市市民活動支援公募事業 として開催



2016年9月開催

第15回 小平市市民活動支援公募事業 として開催

哲学ドラマ「言葉・カラダ・あそぶ」 〜親子をつなげる新感覚ワークショップ〜

ゲスト:哲学ドラマ・コレクティブ

(大谷 賢治郎・水谷みつる・松山侑生・company ma)

参加者:12組(26名)









事例③:東京大学にて 活動報告

ママさんパレーがあるほう。
ママさんが、アマさんが、アマさんが、アマさんが、アマさんが、アマさんが、アマさんが、アマン・アットのでは、アット

2016年6月開催

ママ哲学サークル in 東京大学 駒場キャンパス

はなこ哲学カフェの活動報告









事例4:哲学対話×音楽のスピンオフ企画

2016年7月開催



第14回 哲学対話×音楽 スピンオフ企画 in国分寺

ゲスト:神戸和佳子さん

(東京大学大学院 教育学研究科博士課程 東洋大学京北中高等学校・開智中高等学校 にて哲学を中心とした授業を行っている)

中村里子さん

(日本音楽療法学会認定音楽療法士(補) 介護福祉士)

参加者:25名











事例⑤:哲学プラクティスにてブース出展

2016年8月開催

哲学プラクティス連絡会(第2回大会)

- ・ブース出展
- ミニシンポジウムのパネラー(尾崎)「対話の余白からーく在野の市民カフェ>の健全な機能とはなにか?







事例⑥: P4E研究会主催 こまば哲学カフェ にて

2016年11月開催

駒場祭 こまば哲学力フェにて

どうする?!子供の英語教育 〜親はなぜ子どもの英語教育に不安を感じるのか〜

協力者:清水 将吾さん(哲学者)

参加者:15名







2017年の活動予定



平成29年度 小平市 市民学習奨励学級助成金によるこども哲学カフェ開催予定 (5回連続講座として)

映像×哲学対話 絵本×哲学対話 など







こども哲学など、親子で楽しめる哲学対話を企画、開催していきたい。

はなこ哲学カフェの始まり



哲学対話の魅力

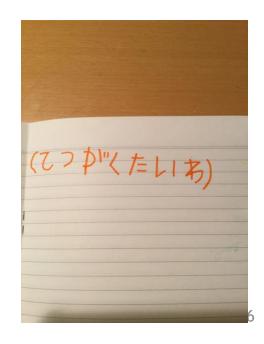
~哲学対話と対話って何が違うんだろう?~



哲学対話が私に与えてくれたもの

- ①以前より思考の整理が出来るようになった
- ②考える方法を体験を通して学んだ
- ③物事を自分から切り離して考えることが 出来るようになった
- 4自由を体感できる
- ⑤日常生活で背負っている役割を置いて私 という個でいられる場

哲学カフェを主催している中で 突き当たった問題 ~対話の深まりと深まらなさ~



最後に...

ご清聴ありがとうございました

